

# Novo Nordisk Pharma Ltd. COMPANY PROFILE



## 世界におけるノボ ノルディスク

ノボ ノルディスクは、1923年創業のデンマークを本拠とする世界有数のヘルスケア企業です。

私たちのパーパスは、変革を推進し、糖尿病および肥満症、血液系希少疾患、内分泌系希少疾患などのその他の深刻な慢性疾患を克服することです。

その目的達成に向け、科学的革新を見出し、医薬品へのアクセスを拡大するとともに、病気の予防ならびに最終的には根治を目指して取り組んでいます。

ノボ ノルディスクは現在、80カ国に4万5,000人以上の社員を擁し、製品は169カ国で販売されています<sup>1</sup>。

[novonordisk.com/about/who-we-are.html](http://novonordisk.com/about/who-we-are.html)



**創業**  
1923年  
**本社**  
デンマーク



**関連会社**  
80カ国に関連会社<sup>1</sup>  
**製品**  
169カ国で製品を販売<sup>1</sup>



**患者**  
3,280万人の患者さんが  
ノボ ノルディスクの糖尿病  
製品を使用<sup>2</sup>



**研究開発センター**  
5カ国（中国、デンマーク、  
インド、英国、米国）に10カ所<sup>1</sup>  
**インスリン製剤**  
世界で使用されるインスリン  
製剤の約半分を供給<sup>2</sup>



**従業員**  
4万5,000人以上<sup>1</sup>  
**売上高**  
1,269億DKK(2020年)<sup>2</sup>  
**時価総額**  
世界10大製薬会社に  
ランクイン<sup>3</sup>



**生産拠点**  
9カ国（アルジェリア、ブラ  
ジル、中国、デンマーク、フラ  
ンス、日本、ロシア、英国、米  
国）に16カ所<sup>1</sup>



**設立**  
1980年6月20日  
**製品**  
ノボ ノルディスクの製品は  
1955年から国内で流通  
開始



**社員数**  
1,065人  
(2020年12月末日現在)



**売上高**  
978億円  
(2020年日本法人決算  
ベース)



**本社**  
東京  
**営業拠点**  
54カ所

### 郡山工場（福島県郡山市）

ノボ ノルディスク ファーマは、1984年に神奈川県厚木市の工場を生産を開始し、その後、市場の拡大に伴い、1998年1月に福島県郡山市に工場を移転しました。郡山工場は、国内唯一の生産工場として、国内で流通する全ての当社製品について、高い品質を確保しつつ安定供給できるよう、最新鋭の技術と設備を駆使し、製品の受け入れから出荷までコンピューターで一元的に生産を行っています。



## 日本におけるノボ ノルディスク

ノボ ノルディスクのインスリン製剤は、1955年より国内に流通し、糖尿病患者さんの治療改善に長らく貢献してきました。

日本法人は、前身であるノボ薬品株式会社が1980年に設立されたことからスタートし、1990年にノボ薬品と日本ノルディスク株式会社が統合し、ノボ ノルディスク ファーマ株式会社が発足しました。

東京に本社を置き、北海道から九州・沖縄まで全国54カ所に営業所を展開するほか、福島県郡山市に工場を構えています。日本における臨床研究活動にも取り組んでいます。

### 会社概要

**社名**：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社  
**代表者**：代表取締役社長 オーレ ムルスコウ ベック  
**資本金**：21億405万円  
**株主**：ノボ ノルディスク・リージョン・ジャパン&コリアA/S  
**事業内容**：医療用医薬品、医療機器の開発、輸入・製造、販売  
**事業領域**：糖尿病領域、および心臓病や成長障害の治療薬を含むバイオファーマ領域

[novonordisk.co.jp/about-novo-nordisk/about-novo-nordisk.html](http://novonordisk.co.jp/about-novo-nordisk/about-novo-nordisk.html)

## 臨床研究活動

### より良い糖尿病治療の必要性

糖尿病の治療法は改善を遂げてきましたが、それでもなお、予防と治療の改善が求められています。ノボ ノルディスクは、新薬開発を通じて治療の改善に取り組んでいます。臨床研究によって製品を厳密に検証し、有効性と安全性を証明するのは私たちに課せられた責任です。

**4億6,300万人**

現在、糖尿病とともに生きる世界中の成人の数<sup>4</sup>

**2045年までに7億人に増加<sup>4</sup>**



## 日本における臨床研究活動

**45試験**

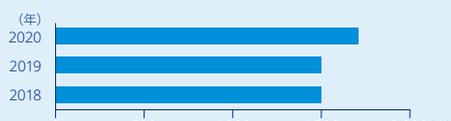
2016~2020年にノボ ノルディスク ファーマは日本で45件の臨床試験を実施<sup>5</sup>

**4,934人**

2016~2020年にノボ ノルディスク ファーマの臨床試験に参加した日本人の患者数<sup>5</sup>

**312億7,300万円**

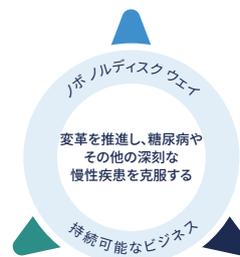
2016~2020年のノボ ノルディスク ファーマの日本での研究開発投資額<sup>5</sup>



ノボ ノルディスク ファーマの臨床試験に参加した日本人患者数の推移

## サステナブルビジネスアプローチ

社会に対する責任



環境に対する責任

財務・経済に対する責任

ノボ ノルディスクは、社会、環境、財務・経済に対して責任を果たしていくことが、長期的にビジネスを成功させる基盤であると考えています。ノボ ノルディスクのサステナブルビジネスアプローチでは、私たちのパーパスである「変革を推進し、糖尿病やその他の深刻な慢性疾患を克服する」を中心に据え、私たちが日々製品をお届けする何百万人もの患者さんに対して担う責任を示しています。このパーパスにより導かれた事業活動を行い、社会に付加価値を提供し、持続可能な企業であることを目指しています。

## 糖尿病への取り組み

糖尿病はノボ ノルディスクの手がける主力の疾患領域で、インスリン製剤とGLP-1アナログ製剤を取り扱っています。糖尿病を克服することを目指し、私たちは日々革新的な製剤の開発を続けています。

しかし、製剤だけで糖尿病における全ての課題を解決できないことも事実です。真の意味で糖尿病を克服するために、ノボ ノルディスクでは、患者さんの心理的・社会的な課題も解決するためのさまざまな取り組みを行っています。

### Cities Changing Diabetes(都市に蔓延する糖尿病の克服)

糖尿病とともに生きる人々の3人に2人が都市部に暮らしており、都市では糖尿病が蔓延しています。ノボ ノルディスクは、多様なパートナーと連携し、都市における糖尿病増加に取り組むため、「Cities Changing Diabetes」と呼ばれるプログラムを世界で立ち上げました。本プログラムでは、都市において糖尿病が増加している主な要因を理解し、知見を共有し、糖尿病患者さんのケア改善のために行動していくことにより、都市に住む糖尿病患者さんの健康改善を目指しています。日本においては、2018年から福島県郡山市および福島県立医科大学と日本初となる「Cities Changing Diabetes」プログラムを実施・完了し、2021年6月からは千葉県旭市および千葉大学医学部附属病院と2回目となる「Cities Changing Diabetes」プログラムを実施しています。

### 歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー

糖尿病とともに健康的に暮らすことの重要性について広めるため、ノボ ノルディスクは公益社団法人日本糖尿病協会と1992年から「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー」を共催しています。全国で開催されている本イベントは糖尿病患者さんが友人や家族とともに、糖尿病に関する講演やゲームなどを通じて、良好な血糖コントロールのために必要な知識や、糖尿病治療に欠かせない運動療法について楽しく学ぶ機会を提供しています。



### チーム ノボ ノルディスク

チーム ノボ ノルディスクは、世界初の全員が1型糖尿病患者で構成されたプロサイクリングチームで、国際自転車競技連合(UCI)のプロチームとして競技に参戦しています。2012年よりノボ ノルディスクがチームをサポートしています。チーム ノボ ノルディスクのミッションは、糖尿病とともに生きる人々を元気づけ、治療に積極的に取り組み、それぞれの人生の目標に向けて生きていくことを応援することです。選手自らがお手本となり、世界トップクラスのレースに挑戦し「糖尿病を抱えていてもできること」を示すことによって、糖尿病とともに生きる人々を励まし、夢を追い続けていくための希望を与えています。



### 思い出のサマーキャンプスケッチコンクール

絵を描くことを通じて観察力を鍛え、自分自身の身体を把握する力を高め、血糖コントロールに生かしてほしいという願いを込め、2001年より、「小児糖尿病サマーキャンプ」(主催:公益社団法人日本糖尿病協会)の参加者を対象に「思い出のサマーキャンプスケッチコンクール」を実施しています。

## バイオフーマ領域での取り組み

### changing haemophilia®

#### 血友病・血液凝固異常症への取り組み

ノボ ノルディスクは、血友病や血液系希少疾患の患者さんの出血治療における重大なアンメットメディカルニーズに応えるため、遺伝子組換えタンパク質の開発・製造の知見を活用し血友病や血液凝固異常症の治療薬の開発・提供を行ってきました。現在では血友病A、血友病B、インヒビターを持つ血友病の全ての種類の血友病治療薬を提供しています。また非常に稀な疾患である血液凝固第XIII因子欠乏症の治療薬も提供しています。

また、Changing Haemophilia®(血友病とともに生きる人々のより良い明日を築くために)のコンセプトのもと、血友病や血液凝固異常症とともに生きる人々の治療と人生に貢献するための取り組みも行っています。日本では、血友病患者さんのための運動イベントや啓発活動を4月17日の「世界血友病デー」に合わせて開催したり、患者さんとご家族向けのWebサイト「クラブヘモフィリア」(www.clubhaemophilia.jp)にて血友病とともに生きる方々のためのさまざまな情報を提供しています。

#### 成長障害への取り組み

ノボ ノルディスクは40年以上の歴史を持つ成長ホルモン療法のパイオニアです。世界で初めてカートリッジに充填したリキッドタイプの成長ホルモン製剤を開発し、今では世界で最も多く使われています。治療薬の提供を超えた取り組みとして、子供の低身長症の早期診断・早期治療を目的とした啓発活動も行っています。全国各地で小児科医師や医療従事者に対して情報提供を行い、早期診断・早期治療の重要性について訴求しています。また、疾患啓発と成長曲線の普及促進を目的とした「わが子の身長はかろう！つけよう！」キャンペーンを2011年から実施しています。子供の低身長について分かりやすく解説したパンフレットや身長測定ポスターを無料で配布しています。2017年からはお子様の身長と体重を簡単に記録できるスマートフォン向けアプリ「すくすく成長曲線」を無料で提供しており、2020年には成長障害・低身長のお子様のための相談室「nordicare.jp」をリニューアルしました。

## 環境への影響をゼロに

### circular zero

ノボ ノルディスクは、環境への影響ゼロを実現するために循環型の考え方を取り入れた「Circular for Zero -循環型ビジネスで環境負荷ゼロを実現する-」という環境戦略を打ち立てています。この環境戦略を通じて、リサイクルや再利用可能な製品設計、ビジネスの手順を見直すことによる消費の最小化と廃棄物の削減、そして志を同じくするサプライヤーとの協働に取り組んでいます。

2020年には全世界の全ての生産拠点において100%再生可能エネルギーへの移行を実現しました。次の目標として、2030年までに全ての事業活動および輸送にかかるCO<sub>2</sub>排出ゼロを目指しています。

国内では郡山工場が、2016年に電力の再生可能エネルギー化100%、2018年に工場におけるCO<sub>2</sub>排出量ゼロを実現しています。2020年7月には、工場の敷地内に太陽光発電設備を導入し、発電した電力を自家消費することで環境負荷低減を図っています。

また、2021年2月には、日本における環境戦略を発表しました。

1. Novonordisk.com, accessed August 2021  
2. Novo Nordisk Annual Report 2020 and data on file.  
3. 時価総額において世界第7位(2020年7月16日現在)  
MedWatch(https://medwatch.dk/Top\_picks\_in\_english/article12278360.ece), accessed January 2021

4. International Diabetes Federation (IDF): IDF Diabetes Atlas, 9th edn. Brussels, Belgium, 2019  
5. 社内資料:Novo Nordisk,2021



ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル

TEL. (03) 6266-1000 (代表) FAX. (03) 6266-1800 www.novonordisk.co.jp

JP21NNG00007(2021年9月作成)